



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月14日

上場会社名 ベースフード株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2936 URL <https://basefood.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 橋本 舜
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員COO (氏名) 川南 圭一郎 TEL 03(6416)8905
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
2026年2月期第3四半期	百万円 11,438	% △1.2	百万円 42	% —	百万円 38	% —	百万円 43	% —
2025年2月期第3四半期	11,579	0.1	△244	—	△254	—	△275	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年2月期第3四半期	円 銭 0.82	円 銭 0.81
2025年2月期第3四半期	△5.26	—

(注) 2025年2月期第3四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年2月期第3四半期	百万円 3,871	百万円 1,136	% 29.4
2025年2月期	3,851	1,036	26.9

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 1,136百万円 2025年2月期 1,036百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
通期	百万円 15,301	% 0.4	百万円 193	% 41.8

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 2026年2月期の業績予想については、「売上高」と「営業利益」のみ開示しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期 3Q	54,752,100株	2025年2月期	54,351,300株
② 期末自己株式数	2026年2月期 3Q	1,358,034株	2025年2月期	1,358,030株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期 3Q	53,289,842株	2025年2月期 3Q	52,439,080株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

1. 2025年4月14日に公表いたしました通期業績予想を修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 P. 3 「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2026年1月14日に機関投資家、アナリスト向けの会社説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、TDnetで開示するとともに、当社ウェブページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社は、「主食をイノベーションし、健康をあたりまえに。」というミッションを掲げ、“栄養のインフラ”としてのBASE FOOD®を目指しております。

ミッションの実現に向け、研究開発活動を通じて完全栄養（注1）の主食を中心としたBASE FOOD®シリーズの開発および改善を行い、それらを主に3つのチャネル（卸などを介さず顧客に直接販売を行う「自社EC」、他社ECプラットフォームでの販売を行う「他社EC」、コンビニエンスストアやドラッグストアなどで販売を行う「卸販売」）で販売しております。積極的な研究開発活動を通じて商品の美味しさを追求し、新商品のリリースや商品リニューアルを通じて顧客層の拡大や継続率の向上を図り、成長を遂げてまいります。

当第3四半期においては、前四半期に発表した人気キャラクター「すみっコぐらし」とのコラボレーションキャンペー（2025年10月1日から12月17日まで）や、2025年9月24日発売の「BASE YAKISOBA トムヤムまぜそば」、10月22日発売の「BASE RAMEN」シリーズがそれぞれ好調に推移いたしました。また、期中の11月12日には本格スイーツシリーズ「BASE Pound Cake アールグレイ」、11月24日には「BASE BREAD®ストロベリー」の発売を開始いたしました。さらに、今期に発売開始した「BASE YAKISOBA 塩焼きそば」が、雑誌『MONOQLO』のグルメ大賞2025において「ベストバイオブザイヤー」を受賞するなど、外部機関からも高い評価をいただいております。このような取り組みにより、「かんたん・おいしい・からだにいい」食事のクオリティを高め、より豊かな食体験の機会を提供することで、「健康をあたりまえに」の実現を加速させるR&D活動を進めております。

全体としては、価格改定直後の押し上げ効果があった前年同期との比較、および、広告市況における顧客獲得単価(CPA)の高騰に伴う機動的な広告宣伝費の抑制により、売上高は前年同期を下回る推移となりました。一方で、継続的な固定費の削減と売上総利益率の高水準維持により、第3四半期累計期間において営業利益42百万円を達成いたしました。

自社ECにおいては、広告抑制により新規獲得数が計画を下回ったものの、サブスクリプション会員数は23.2万人（全四半期比+0.3万人）と底堅く推移しました。既存顧客については、継続率とLTV（顧客生涯価値）が過去最高水準で推移しており、顧客基盤は一層盤石化しております。その結果、自社ECの売上高は7,544,892千円（前年同期比2.1%増）となりました

なお、サブスクリプション会員数の推移は以下のとおりとなっております。

	2025年 2月期 第1四半期	2025年 2月期 第2四半期	2025年 2月期 第3四半期	2025年 2月期 第4四半期	2026年 2月期 第1四半期	2026年 2月期 第2四半期	2026年 2月期 第3四半期
サブスクリプション 会員数の推移（万人） (注2)	21.7	22.4	22.3	21.7	23.2	22.9	23.2

(注2) 各四半期末時点

卸販売においては、コンビニエンスストアにおける定番採用化に伴う棚位置変更等の環境変化を受け、売上高は2,976,914千円（前年同期比11.5%減）となりました。しかしながら、定番化の進展は、配荷基盤の安定化および参入障壁の構築を意味しており、将来的なダウンサイドリスクは低減しております。足元では、新商品や上述のコラボレーション施策が奏功し、売上高は前四半期比で7.4%増となるなど、反転を実現しております

なお、展開店舗数および店舗あたり売上高の推移は以下のとおりとなっております。

	2025年 2月期 第1四半期	2025年 2月期 第2四半期	2025年 2月期 第3四半期	2025年 2月期 第4四半期	2026年 2月期 第1四半期	2026年 2月期 第2四半期	2026年 2月期 第3四半期
展開店舗数の推移（店舗） (注3)	50,808	50,530	51,676	50,717	50,113	49,098	49,500
店舗あたり売上高 (注4)	6,950	7,630	7,190	7,175	6,590	6,400	6,810

(注3) 各四半期末時点

(注4) 当該四半期の平均。1店舗あたりの月間売上 = リテールチャネル（卸販売）全体の月間売上/展開店舗数

他社ECにおいては、大手プラットフォームでのセール商戦等が寄与し、売上高は714,071千円（前年同期比5.8%増）と堅調に推移いたしました。

海外事業においては、香港でのテスト販売や自社ECのUX改善が順調に進捗しております。その結果、海外事業全体の売上高は176,803千円（前年同期比27.6%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は11,438,094千円（前年同期比1.2%減）、営業利益は42,000千円（前年同期の営業損失は244,120千円）、経常利益は38,131千円（前年同期の経常損失は254,081千円）、四半期純利益は43,586千円（前年同期の四半期純損失は275,776千円）となりました。

なお、当社の報告セグメントにおける「完全栄養食事業」の比率が極めて高く、上記の事業全体に係る記載内容と概ね同一と考えられるため、セグメントごとの記載は省略しております。

(注1) 1食分（BASE BREADは2袋、BASE Cookiesは4袋、BASE YAKISOBAは2個、BASE RAMENは2個、BASE Pancake Mixは1袋と卵Mサイズ1つ、牛乳（成分無調整）100mlを使用して調理した場合）で、栄養素等表示基準値に基づき、脂質・飽和脂肪酸・炭水化物・ナトリウム以外のすべての栄養素で1日分の基準値の1/3以上を含む。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は3,871,165千円となり、前事業年度末に比べ19,855千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が228,228千円減少した一方で、需要動向に応じた生産の拡大に伴い、商品が88,230千円、未収入金が10,212千円、有形固定資産が31,799千円及びオフィスビル賃借等に伴い差入保証金が56,893千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は2,734,404千円となり、前事業年度末に比べ80,046千円減少いたしました。これは主に、広告宣伝活動による未払金が232,268千円増加した一方で、法人税の納付により未払法人税等が64,402千円、消費税の納付等により流動負債のその他が73,415千円、賞与の支給により賞与引当金が22,555千円、借入金の返済により長期借入金が124,992千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,136,760千円となり、前事業年度末に比べ99,902千円増加いたしました。これは主に、新株予約権の行使により資本金が28,199千円、資本準備金が28,152千円増加したこと加え、四半期純利益の計上により利益剰余金が43,586千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向及び今後の見通し等を勘案し、2025年4月14日に公表いたしました業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日（2026年1月14日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,983,167	1,754,939
売掛金	775,373	744,885
商品	190,757	278,988
原材料及び貯蔵品	39,192	48,179
未収入金	149,722	159,934
前払費用	115,148	141,069
その他	21,338	68,905
流動資産合計	3,274,701	3,196,903
固定資産		
有形固定資産	168,712	200,511
無形固定資産	4,522	8,392
投資その他の資産	403,373	465,357
固定資産合計	576,608	674,261
資産合計	3,851,309	3,871,165
負債の部		
流動負債		
買掛金	545,131	540,457
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	166,656	166,656
未払金	651,111	883,380
リース債務	1,384	1,411
未払費用	161,759	141,808
未払法人税等	69,324	4,921
預り金	51,374	37,941
賞与引当金	22,555	—
ポイント引当金	12,749	11,878
契約負債	375,492	388,457
その他	80,574	7,159
流動負債合計	2,538,115	2,584,072
固定負債		
長期借入金	236,128	111,136
リース債務	5,520	4,458
資産除去債務	34,687	34,737
固定負債合計	276,336	150,332
負債合計	2,814,451	2,734,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,174,857	38,199
資本剰余金	2,112,839	1,082,278
利益剰余金	△2,223,569	43,586
自己株式	△27,583	△27,585
株主資本合計	1,036,543	1,136,479
新株予約権	315	281
純資産合計	1,036,858	1,136,760
負債純資産合計	3,851,309	3,871,165

(2) 四半期損益計算書

(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	11,579,646	11,438,094
売上原価	5,278,390	4,933,811
売上総利益	6,301,255	6,504,282
販売費及び一般管理費	6,545,376	6,462,282
営業利益又は営業損失 (△)	△244,120	42,000
営業外収益		
受取利息	216	2,346
受取補填金	2,156	1,884
補助金収入	—	1,603
為替差益	1,875	—
その他	2,436	3,688
営業外収益合計	6,685	9,522
営業外費用		
支払利息	15,636	12,529
支払保証料	506	257
為替差損	—	604
その他	503	0
営業外費用合計	16,646	13,391
経常利益又は経常損失 (△)	△254,081	38,131
特別利益		
固定資産売却益	171	—
特別利益合計	171	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△253,910	38,131
法人税、住民税及び事業税	4,921	6,583
法人税等調整額	16,944	△12,038
法人税等合計	21,866	△5,455
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△275,776	43,586

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 3	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	完全栄養食事業				
売上高					
外部顧客への売上高	11,576,924	2,721	11,579,646	—	11,579,646
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,576,924	2,721	11,579,646	—	11,579,646
セグメント損失（△）	△152,000	△1,570	△153,571	△90,549	△244,120

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント損失（△）は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 調整額は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費になります。

II 当第3四半期累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年11月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 3	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	完全栄養食事業				
売上高					
外部顧客への売上高	11,412,682	25,412	11,438,094	—	11,438,094
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,412,682	25,412	11,438,094	—	11,438,094
セグメント利益	81,407	7,318	88,725	△46,725	42,000

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 調整額は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費になります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月28日開催の定時株主総会決議に基づき、2025年7月1日付で減資の効力が発生いたしました。これにより、資本金が1,164,857千円、資本準備金が1,585,233千円それぞれ減少し、この減少額全額をその他資本剰余金へ振り替えております。また、減資の効力発生を条件に、その他資本剰余金2,223,569千円を繰越利益剰余金へ振り替えることにより、欠損填補に充当しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	45,703千円	41,962千円